

会 議 録

会議名 (審議会等名)		(仮称)相模原市市民の森検討委員会		
事務局 (担当課)		経済部津久井経済観光課 電話042-780-1416 (直通)		
開催日時		平成24年10月3日(水) 13時30分～16時00分		
開催場所		相模原市民会館 3階第1中会議室		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)		
	その他	0人(別紙のとおり)		
	事務局	7人(経済部長、津久井経済観光課長、他5人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1. 開会 2. 検討委員・事務局 出席者紹介 3. 議事 (1) 委員長・副委員長の選出 (2) 平成23年度市民の森庁内検討ワーキング結果報告について (3) 委員会での検討事項について (4) 意見交換 (5) その他 4. 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員長の発言、□は委員の発言、●は事務局(業務受託者含む)の発言)

開会に先立ち、加藤経済部長から各委員へ委嘱状を交付した。

1. 開会

加藤経済部長から開会の挨拶があった。

- 市域の60%の森林を保全、再生し、健全に次世代に引き継ぐべく平成22年度に森林ビジョンを策定した。

森林ビジョンでは、特に市民が森林に触れ合う場として「市民の森」の必要性が盛り込まれており、それを通じて、市民への啓発や林業の普及、振興に繋がりたい。

昨年度庁内に職員によるワーキンググループを設け、候補地や規模を検討し、11候補地から5候補地に絞り込んだ。

本委員会では1候補地への絞り込み、基本構想の概要の策定をお願い致したく、専門的見地、市民の立場からご検討頂きたい。

2. 策定委員・事務局 出席者紹介

3. 議事

(1) 委員長・副委員長の選出

委員内で検討した結果、下村委員、坂本委員の推薦があり、全会一致にて下村委員を委員長、坂本委員を副委員長として決定。

下村委員長から挨拶があった。

- 森林科学(林学)の中でも、森林を生活にどう活かすかという視点から景観やレクリエーションの分野を専門としている。残念ながら、相模原には土地勘はないが、もう一つ別の会議の委員を引き受けているので、少しずつ相模原市の状況が分かりつつある。

本日、候補地を数か所に絞り込み、次回現地調査、最終の3回目に最終的なイメージを固めるという流れで進めて頂ければと思う。

(2) 平成23年度庁内検討ワーキングの結果報告

事務局から資料4を基に説明。

□ 候補地次第で、市民の森の4つの機能の一部が満たせないというようなこともあり得るか。

● ビジョンに基づき最低限の機能と考えているので、基本的にはすべての機能を含みたいと考えている。

□ 児童に対する学習機能も重要だと思うが、宿泊施設などは検討されなかったのか。予算などでの問題があったのか。

● 子供が宿泊体験できる場所としては、藤野の「やませみ」、上大島の「ビレッジ若あゆ」という2つの施設があり、市民の森はバス往復できる距離を考えていることもあり、宿泊施設まで作ることは考えていない。

○ 周辺との連携による、宿泊施設を視野に入れているということはあるのか。

● 津久井地域で考えた場合、候補地と既存宿泊施設は比較的近い位置にあるので、連携して利活用ということを考えている。

□ 相模湖や藤野の周辺の民間宿泊施設は低迷しているので、それらとの連携による活性化も可能性がある。

□ 時代を担う小中学生が学校で順番に利用して、自然に親しみ、体験できる施設があるとい良い。

□ 検討結果候補地に面積によるバラつきが多いが、目的とする機能の実現を目指す上で、最低どのくらいの面積が必要と考えているか。

現状のバスアクセスを優先すると、可能性があるのは2か所のみになる。バスターミナルは近隣の別の場所に置くという可能性はあるか。

● 現状の候補地面積は、検討に際して庁内各課が関わりのある施設等を中心に候補地を仮設定したものである。よって、候補地面積の500haすべてを市民の森化するというのは現実的でなく、すべての機能実現ができる適正な面積で計画出来ればと考えている。

アクセスについては、施設周辺にバスターミナルを作ることを前提にすると、どの候補地も進入路が狭く、難しいのではないかと考えている。神奈川中央バスに臨時バスを出してもらう方が有効ではないかと考えている。また、近隣に

バスターミナル・駐車場を設けて、施設との間にシャトルバスを走らせることは、かえって実現に時間を要すると考えている。一方で、学校教育などでは、貸し切りバスで来ることが考えられるので、施設まで直接バスが乗り入れられることが必要ではないかと考えている。

- 候補地については、広葉樹、針葉樹が混じった方が活動のバリエーションが増えるのではないか。
- 現況の駐車場や道路の規模だけで考えるのではなく、将来的なことを考えて絞り込むとなると難しい。
- 候補地の選定はこれからの検討項目の一つであり、各候補地のポテンシャルなどを広く考慮し、検討していく必要がある。
- 宿泊施設同様、神奈川中央バスも利用者減少が問題になっているので、上手く市内交通の活性化に繋がる計画にできると良い。
- 市民参加の森ゾーンで森林整備に市民参加がうたわれているが、管理の市民参加と、整備の市民参加と両方を考えているのか。
- 下刈、清掃等の簡単な整備や什器の制作、設置などを市民ができるようにとは考えている。最初の基本的な設備は市が行う。
- 一部、市民参加の間伐や枝打ちのゾーンを残してもらいたい。私も十数人で活動しているが、そういう希望が多い。
- 楽しみながらできる仕組みとして、広い場所を整備してバーベキューができるなど工夫がほしい。
- 間伐の薪を環境祭りに出展した際、小学校の校長先生からキャンプファイヤー用の薪の注文があり、生徒の代表などが間伐の活動に参加したいという声を頂いた。
- 様々な意見の方がいるので、市民が体験や理解が含まれる活動ができるゾーンは是非作ってほしい。

(3) 委員会での検討事項について

- 事務局から今年度の委員会での検討事項について、説明をお願いします。
- 候補を1ヶ所に絞り込むことが最終目標であり、今回3か所以内に絞り込み、次回午前の視察の後、1ヶ所への絞り込みをして頂き、第3回で基本構想の概要を纏めて頂きたい。
- まず意見交換して頂き、それを基に条件に合うところに絞っていければと思う。

(4) 意見交換

- アクセスが一番重要。また、4つの機能が満足できる規模、面積を整えば、森林ボランティアの関心が高く、市民参加での管理は可能だと思う。
- 森林整備体験だけだと限られた市民だけの利用になるので、楽しめる機能や場所にしていくことが重要。
- 大勢に来て頂くことが魅力に繋がるので、面積が大きすぎてもすべてをまわることができない。コンパクトでもいくつかのハイキングコースを作るなど、来てみたくなるような工夫をしてほしい。また、アクセスが一番重要。
- 市民が魅力に感じると「市民の森」とはどういうものなのか、よく議論していく必要がある。また、山、環境を守るという大きな責務があり、大人が参画し、子供に伝えることが大切で、一部の限られた人たちだけの活動では駄目。いかに楽しい場所にできるかによって、多くの人にも森林整備の活動に興味を持ってもらえることに繋がる。
- 中高齢者層が森に何を求めるか。美しさや解放感、気楽に行けることなどではないか。特に気楽に行けるとなると、電車を使うというのも大変で、やはり車でのアクセスが良いことが重要ではないか。
- 現実として、森林整備がされていないことによって、木材の節が多くなり、利用できないことが多い。体験などでそうした事情や森林整備の重要性を知ってもらいたい。

また、将来的に市民の方などの協力によって整備を図ることで、見通しが良くなり、眺望の開けたハイキングコースなどをつくることできてくると思うが、そのためにはある程度大きな面積を確保し、市民が活動できるスペースを設置しておく必要がある。

先ほど話にあったバーベキューのことを考えると水辺に近いこともポイントになる。

アクセスの問題は、一定の駐車場を作るかどうか、現地の状況を見て考えてもらえればと思う。

- 利用イメージとして、中高齢者を中心とした個人、子供のいる家族、ボランティアや自然観察などの団体、学校活動での利用といったことが考えられる。

魅力を高めるためには、できるだけ多様な活動が担保されること、その前提となる植生・地形の多様性、アクセスの良さ、歩き易さ（アプローチの良さ）などを考える必要がある。

また、森林の活動に詳しい方や地元の方々の協力体制なども考慮していく必要がある。

- 現況だけでなく、将来を見通さないといけないのではないか。津久井地域は、旧4町あるので、現時点での候補地として旧町1つずつとし、それらを全て現地調査したうえで選ぶということはできないか。

- 以上のご意見も踏まえ、現地調査は旧4町の各1か所ずつ実施した上で、候補地を1か所に絞り込みたいと思う。

(5) その他

次回のスケジュールについて調整。

第2回委員会（現地調査及び絞り込み）

11月21日（水）9：30～ 相模湖総合事務所 集合、解散。

以 上

(仮称)相模原市市民の森検討委員出欠席名簿

【検討委員会委員】

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	下村 彰男	東京大学 大学院 農学生命科学研究科 教授	委員長	出席
2	坂本 重光	津久井郡森林組合 専務理事	副委員長	出席
3	小野沢 良雄	津久井地区自治会連合会 会長		出席
4	平林 清	光が丘地区自治会連合会 会長		出席
5	金子 匡甫	東林地区自治会連合会 会長		欠席
6	吉山 茂利	相模原市観光協会 副会長		出席
7	滝口 清吾	公募委員		出席
8	畑 久男	公募委員		出席

【オブザーバー】

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	石井 洋三	神奈川県 農政部 森林保全課長		欠席